

健康福祉常任委員会から政策提言！

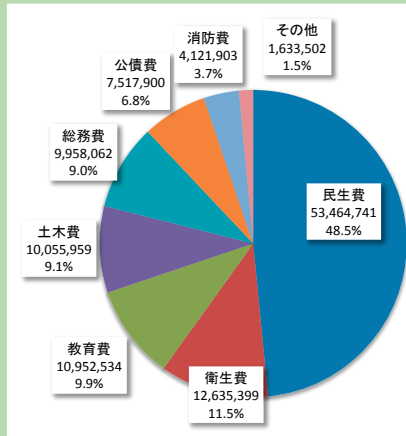
委員長を務める健康福祉常任委員会の活動も大詰めを迎えています。委員会任期の約2年間、各委員や行政の協力を得て、積極的に政策調査活動を行ってきました。コロナ禍で一時停滞を余儀なくされた福祉分野でしたが、これからの先を見据え、『**地域福祉ネットワークの再生に向けた提言**』として政策提言を作成し、行政側へ提出いたしました。議員がそれぞれの現場やフィールドで意見を伺ったりしながら、課題解決へ向けて政策議論するという市議会の「**政策形成サイクル**」を機能させることができ、議会の本質である活動が実施できたと考えます。



委員会として提言しました！

いよいよ市議会議員の任期満了！

4年間という市議会の任期は間もなく3月年度末をもって実質的に満了を迎えます。3月には、令和5年度(2023年度)の当初予算を議決する重要な議案審査が控えています。一般会計と特別会計、企業会計を合計すると、所沢市の予算規模は**およそ1900億円**となります。(令和4年度・歳出) **決して楽観のできない時代、行政が成長戦略のマインドを持てるかどうかのポイントとなることを主張してまいります。**人口34万人の市民はもとより、将来世代への視点を持って臨んでまいりたいと考えています。2期目の集大成として成果へ繋げられるよう挑んでまいります。**予算審議でも「未来への懸け橋」となれるよう頑張ります！**



令和4年度一般会計歳出予算分野別構成図 (単位: 千円)

石原たかしプロフィール

- 1988年12月7日生まれ (所沢生まれ所沢育ち)
- 私立マルハ幼稚園卒園
- 所沢市立中新井小学校 (現・中央小学校) 卒業
- 所沢市立美原中学校卒業
- 私立 狭山ヶ丘高等学校卒業
- 早稲田大学 社会科学部 (政治学ゼミ) 卒業
- 飯能信用金庫に勤務 (一般のご家庭や中小企業を担当) — 所沢の未来に責任を果たすため立候補を決意 —
- 2015年4月 所沢市議会議員選挙にて初当選 (最年少！)
- 2019年4月 所沢市議会議員選挙にて2期目の当選 (最年少！)

夫婦共働き、3児のパパとして奮闘中です！

こどもの事故予防地方議員連盟 所属 (全国の若手議員とともに議員力の向上に努めています)

「政治家は名誉職ではありません！」の信念とともに
謙虚に、誠実に、まっすくに、活動を続けていきます。



最近週末の仕事の合間に子ども達の自転車の練習をしています。

所沢市議会議員

石原たかし

きちんと！と議会報告

市議会
最年少 **34**歳！



所沢生まれ
所沢育ち
3児の父

Vol.28
2023

後援会事務所 〒359-1111 所沢市緑町1-5-7-506 電話 04-2925-1155 または
連絡所 〒359-1141 所沢市小手指1-42-6-2F 070-4533-1155
URL <http://t-ishihara.jp/> または **石原 たかし** 検索 発行: 石原たかし 討議資料

2023年、新時代へ「動く！」一年へ！

2023年は、新たな社会への転換点としてのスタートを予見させます。海外からの変異株を警戒する必要がありますが、**すでに民間では創意工夫で先を見据えたアフターコロナ・ニューノーマルの社会、経済へ移行する取り組みが始まっています。**時代の流れは一層、スピード感を増すことになると考えられます。**政治や行政の分野が遅れを許す訳にはまいません。**変化を恐れず、果敢に挑戦する都市づくりが求められる時代です。いよいよ2月中旬からは、令和5年度の予算を決める議会が始まります。所沢市が希望に向かっていく一年となるよう走ってまいります。昨年未まで開かれていた第4回定例会では、コロナ禍の物価高騰対策として、**若者支援 (高校生世帯) や子育て世帯 (赤ちゃんから中学生まで) の支援が議決されました。**かねてから、社会を支える現役世代への支援の必要性を訴えてきましたが、政策としての実施に結び付き、「**唯一の若手現役子育て中の議員**」としての存在意義を発揮できた思いです。

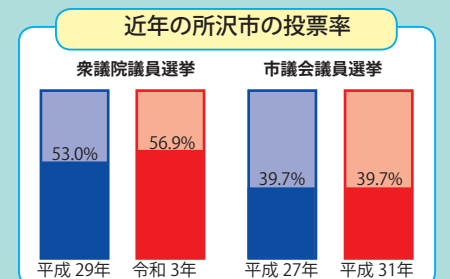


自ら街をつくる機会！市議会議員選挙の投票率は...



第4回定例会では、2023年4月に実施が予定されている地方選挙の関連予算も決定しました。

以前からの取り組みとして、投票所での待ち時間短縮策やバリアフリー対応などの投票環境の改善を実施してきました。所沢市議会議員選挙の投票率は、国政選挙などと比較しても依然として低調にとどまっています。**これからは、投票環境整備というハード面にとどまらず、「候補者の質」を高めることにも真剣に取り組んでいかなければならないと感じています。**特に市議会私たちの生活に最も身近な存在です。**「ともに所沢をつくり、将来を託せる人を選ぶ」**そうした機会として多くの方に選挙に赴いていただけるよう、自ら姿勢を示していきたいと決意しています。



石原たかしのきちん!と一般質問



保護者負担を軽減し、持続可能なPTA活動へ改革を!

近年、全国的にもPTA活動のあり方について議論が湧いています。現代の家庭は、正規非正規を問わず共働きの家庭が大多数を占めます。また、シングル家庭や在宅介護の家庭など各家庭の事情も多様化しています。そうした中で、「昭和モデルのPTA活動」は保護者にも先生にも負担が大きいのではないのでしょうか。私の友人にも産まれたばかりの赤ちゃんを育児しながら、大変な思いをして小学校のPTA活動に参画しているママさんがいます。こうした状況から改善・改革し、負担感なく参加できる活動へ、時代に合わせた改革が行われるように教育委員会から現場への支援を要請しました。

- 石原たかしの主張
 - 保護者の負担のかかる家庭教育学級などの運営方法の改善を!
 - 持続可能なPTA活動となるように保護者負担の軽減を!



待機児童のいない社会へ! 保育園・放課後児童クラブの今後の整備は!

都市部の自治体では、保育園の待機児童や放課後児童クラブ(学童)の保留児童が問題になっています。こうした問題は所沢市でも喫緊の課題です。子育て施設の十分な整備が子育て世代の安心に繋がります。こうした大きな社会課題への対応は子育て政策のみならず、街づくり政策と連携し、人口の長期予測から対策を進める必要があると主張しました。

- 石原たかしの主張
 - 子育て世代人口増加が予測される地域に速やかな保育所・放課後児童クラブの定員拡大を!
 - 将来の開発計画などから、保育・子育て支援施設のニーズを予測し、計画的整備を!



人命最優先の連携で、児童虐待・DVの撲滅を!

増加傾向にある児童虐待やDV(家庭内暴力)の撲滅に力を入れて啓発をしてきました。これらは、周囲から見づらく、常習性があるという点で問題が複雑化しており、早期発見や継続的な観察が必要になります。

所沢市では4月から「配偶者暴力相談支援センター」事業を開始したことから、事案の解決から事件の予防まで、人命を最優先とした積極的な対応を要請しました。福祉と防犯の連携は、地域で広げていくべき課題だと考えています。

- 石原たかしの主張
 - 児童虐待やDV問題について地域団体との防犯パトロールなどの連携を!
 - 民生児童委員さんへの速やかな情報提供と、警察機関とのスムーズな連携を!



最新のデジタル技術を活用し、高齢者の見守りを!

所沢市は一人暮らしの高齢者の方へ、もしもの体調急変時などの時にボタン通話できる「緊急通報システム」の機器を貸し出ししています。平成4年からスタートした事業で、事業開始からおよそ30年が経過している一方、現在普及し始めているICT技術やデジタル技術を活用した最新の見守りシステムは、AI搭載カメラ、赤外線、脈拍感知、などの機能を有しています。こうした最新の技術を取り入れたシステムの導入を検討するよう提案しました。

- 石原たかしの主張
 - 一人住まいの高齢者の見守り事業について、先進市町村の実証実験を参考に調査研究を!
 - 技術革新がなされた緊急通報システムへのバージョンアップの検討を!



第4回定例会の重要議決事項

コロナ禍の経済セーフティネットが延長されました!

《生活困窮者自立支援事業》

コロナ禍による経済的影響が長期化していることにより、緊急小口資金等の特例貸し付けを利用できない世帯にも生活困窮者自立支援金の支給を行ってきましたが、これを延長することが国の事業として決まり、市もセーフティネットとして整備するものです。

物価高騰の中、高校生と保護者を応援します!

《若者応援事業(16歳から18歳の未来へ)》



コロナ禍の食料費高騰や各種物価高騰の影響を受けている若者を応援するため、高校生世代がいる家庭へ電子マネーを給付するものです。給付申請をLINE登録で行うことにより、高校生世代の悩み相談などへのデジタルコミュニケーションにつなげます。(申請書類の送付は2月頃の予定です)

物価高騰の中、子育て世帯を応援します!

《子育て家庭応援事業》

食料費高騰や物価高騰の影響を受けている子育て家庭を応援するため、子ども一人当たり20000円の電子マネーを給付します。(令和4年に生まれた0歳~15才まで。約41,000人が対象)。子育て中の世帯を等しく応援するため、所得制限ナシで実施されます。おむつやミルクの値上げなどに始まり、食費や生活必需品の値上げの影響を受けています。石原たかしとしても子育て世代への支援を地道に訴えてきたことが、実を結んだ思いです。(手続き書類の送付は2月頃の予定です)



特集

所沢市の放課後児童(学童)クラブの未来は!?

今回の議会の一般質問で取り上げた放課後児童(学童)クラブの定員については、心配する多くのご意見をいただきました。放課後児童(学童)クラブに入所できず、保留児になってしまう事は、保護者の勤務環境にも大きく影響してしまう深刻な問題です。祖父母に預かりを頼んでやりくりしている家庭はもちろんのこと、近くに頼れる方いない家庭はなお深刻です。これまでも計画的に定員を拡大してきましたが、事前のピーク予想を実際のニーズが大幅に突破したことを所沢市も重く受け止めて、整備計画の大幅な上方修正を行いました。

- 令和4年4月から➡228人の定員増
- 令和5年4月から➡160人の定員増
- 令和6年4月から➡当初計画よりもさらに上乗せ分で約400人の追加定員増

上記のように急ピッチで放課後児童(学童)クラブの定員拡大・施設整備が進められていく計画となりました。

特に人口増加地域への重点配慮、今後も学校と連携し、校舎内の空き教室や校舎内の施設などを積極的に活用した定員増加を推進するように石原たかしから要望をいたしました。(校舎内化・校内化が進むことにより交通安全の心配も解消が期待されます。)これからも等身大の声を届けてまいりたいと思います。

